



五感をゆさぶる自然素材と「子どもあそび」の深まり

6月



⑧ 虫とよあみとかがを持ち歩き、虫をつかまえることしー生懸命の男の子たち。
「大きい虫つかまえてー!!」
「見せて!」「いいよ!」と友だちと仲良く遊ぶ。



《情緒体験》 雨の降る中も、雨づつを(はい)こ。 (まどし(は)ら(り)して、傘をさして、歩く。「雨、冷たい」「気持ちいい!!」
「雨、大好き～」と、雨を見こ。 触れて、感じる。



《土山あそび》 土山のてっぺんに登って、上から何度もすべって遊ぶ。「すべろー」「楽しい!!」
「おもしろーい」水を流して、すべりやすくする。

⑨ ホースの水を(使)って、水あそびを(楽し)む。「うわー」「水かけろー」と、水に(触)れ(る)気持(ち)よ(さ)を(感)じ(て)こ(す)。水を飛ばして勢いよく飛ばす(こ)ろ(を)来(し)た。



土山のてっぺんから、水を流して遊ぶ。流水でできた水。土で、せめようとする。

友だちと協力して、どう土を集めて、壁を作ろうとする。「流れよから、いっぱい集めよう!」

土がけの、うまくせめとめることばで遊ぶ。水を見つけて、立ててみる。

板と、土をうまく利用して、国産(り)こして、壁をつくる。